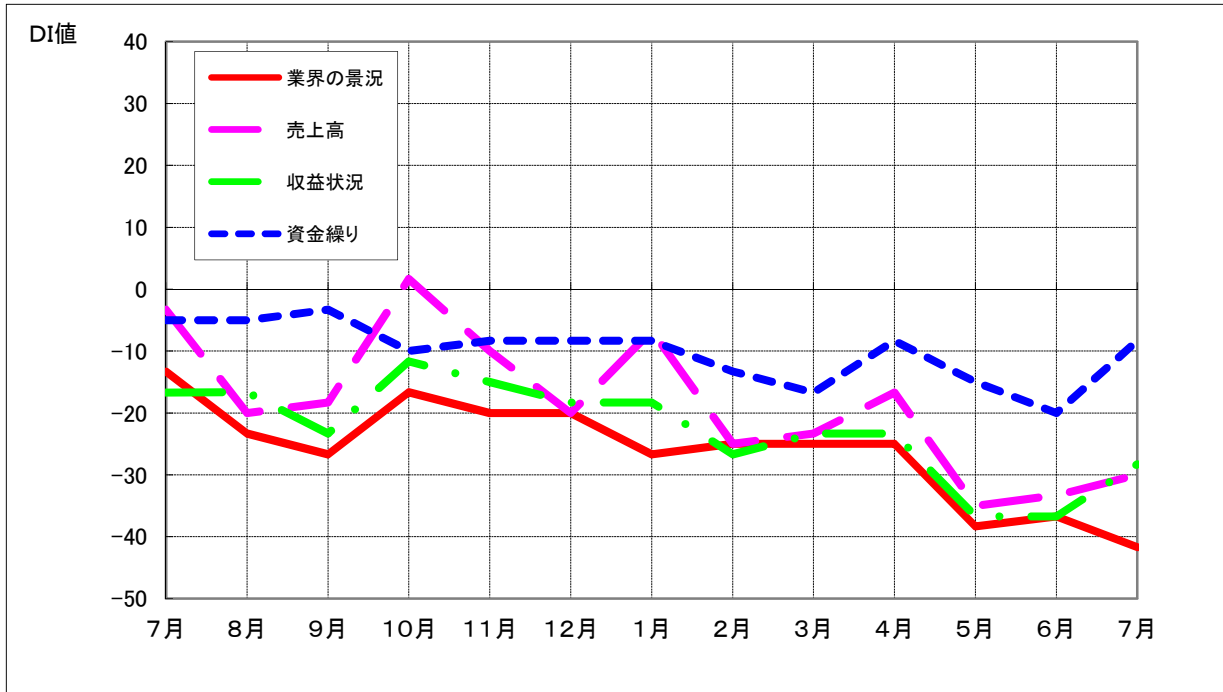


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年7月～令和元年7月

単位:ポイント



	H30			H31					R1				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	-25.0	-25.0	-38.3	-36.7	-41.7
売上高	-3.3	-20.0	-18.3	1.7	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	-23.3	-16.7	-35.0	-33.3	-30.0
収益状況	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	-23.3	-23.3	-36.7	-36.7	-28.3
資金繰り	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	-16.7	-8.3	-15.0	-20.0	-8.3

7月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化となった。「売上高」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は8.4ポイント、「資金繰り」DI値は11.7ポイントそれぞれ改善し、「業界の景況」DI値は5ポイント悪化した。前年同月比では、3ヶ月連続で全項目悪化しており、「業界の景況」DI値は28.4ポイント、「売上高」DI値は26.7ポイント、「収益状況」DI値は11.6ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、よくも悪くも、7月上旬の冷夏、中旬以降の猛暑が売上に影響したとの報告が多数寄せられている。また、製造業・建設業においては、慢性的に人手不足が続いているようだ。

組合からの特記事項としては、食料品製造業、卸売業、小売業、商店街及び運輸業等から、良くも悪くも、7月中の極端な気候が売上に影響したとの報告が多く寄せられている。天候が良かったこともあり一部では売上を伸ばしたところもあるようだが、上旬の冷夏により夏季商品が売れなかった、中旬以降の猛暑により店に客足が少なかったなどの声がある。また、主に製造業・建設業において、慢性的に人手不足が続いているようで、人材確保が今後の課題である。